

【所轄地区：豊春地区】

豊春地区公民館・豊春第二公民館

◇運営の基本方針

生涯学習の理念に基づき、地域住民の課題や学習ニーズに対応した学習機会を提供するとともに、地域の連帯意識を高め、明るい地域社会づくりを推進する。

◇重点施策

- 1 地域住民の課題や学習ニーズに応じた講座を開設し、学習機会の充実を図る。
- 2 家庭における教育力の向上を図るとともに子育て支援を推進する。
- 3 地域内の団体と連携し、地域住民の交流機会の充実・連帯感の向上を図る。

◇重点事業

- | | |
|----------------|------------|
| 1 えん JOYトレーニング | 2 とよはる音楽祭 |
| 3 いきいき学級 | 4 豊春公民館文化祭 |
| 5 小・中学生期家庭教育学級 | 6 豊春地区体育祭 |

豊春地区公民館

所在地 〒344-0046 春日部市上蛭田101番地2

豊春市民センター内

TEL・FAX 048-754-0942

E-mail toyokou@city.kasukabe.lg.jp



豊春第二公民館

所在地 〒344-0066 春日部市豊町5丁目14番地1

TEL・FAX 048-754-2100

E-mail toyo2kou@city.kasukabe.lg.jp



職員	館長（兼務）	島田敬	主査（兼務）	吉久高秀
	主任（兼務）	植竹義明	主任（兼務）	石橋奈々子
	主事（兼務）	飯塚千菜津（社会教育主事）		
	フルタイム（兼務）	武井雅代	フルタイム（兼務）	白須紀美子
	フルタイム（兼務）	野口浩之	フルタイム（兼務）	松江恵美子

豊
春

事業名 テーマ	みんなが集えるアート展	対象	一般	定員	—		
ねらい	公民館ロビーを絵画、書道、俳句などの作品展示に開放することで、利用者や地域住民が日頃の創作活動を発表できる場とし、美術、芸術を育む心を醸成する。また、利用団体が会員募集の情報を掲示することで公民館利用の拡充を目指す。						
協力機関 及び団体	公民館利用団体	特色 位置づけ		SDGsの 目標No	4、11		
会場	豊春地区公民館 ロビー	教材 資料等					
実施までの経過	4月上旬 参加申込書配布 5月15日(水) 参加申込書受付終了 6月9日(日) } 前期 作品展実施 ~6月22日(土) 6月30日(日) } 後期 作品展実施 ~7月13日(土)	PR方法	公民館だより4、5、6月号、ポスター、チラシに掲載				
		受付方法	5月15日(水)までに、参加申込書を豊春地区公民館まで提出				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 女 計 計 合計			
6月9日(日) ~6月22日(土)		アート展【前期】 ロビーで作品展を実施	展示	65	247	312	出展者 豊春地区公民館 団体：7団体 個人：32人
6月30日(日) ~7月13日(土)		アート展【後期】 ロビーで作品展を実施		64	232	296	
2回	24日間			129	479	608	
企画運営上の工夫	・回数を重ねるごとに展示数が増えていることから、申込数が多かった場合には2部制にするなどして、展示スペースを確保する。 ・利用団体の展示と併せて会員募集情報を掲示し、公民館利用の拡大を目指す。						
成果の 参加者 声など	・来場者のアンケートには「かわいい作品がたくさんあり、自分も作ってみたいと思いました」、「皆様すばらしい作品ばかり、やってみたい物もありました」など、作品作りへ意欲的な意見が多数寄せられた。 ・また、出品者のアンケートには「作品発表の場が近く安易になりメンバー同喜んでいます」などの感想も寄せられ、アート展が出品者にとって日頃の活動の励みとなっていることが伺えた。						
課題と展望	・出品者からは、一年を通して展示のスペースが欲しいとの意見も寄せられたことから、次年度以降は、アート展とは別の形で利用団体の活動成果を発表することができる事業を検討していく。						

事業名 テーマ	いきいき学級		対象	一般		定員	①30人 ②③50人	
ねらい	地域住民のニーズにあった学習機会を提供することにより、これからの生活を安心・安全に過ごすための学習および、学習を有効に生かすための健康の維持・増進を図ることを目指す。							
協力機関 及び団体			特色 位置づけ	かすかべ健チャレ スタンプ対象事業	SDGsの 目標No	3、4、11		
会場	豊春地区公民館 講堂・研修室 豊春第二公民館 大集会室		教材 資料等	講師作成資料				
実施までの経過	5月10日(金) 講師打ち合わせ 7月19日(金) ①豊春地区公民館で実施 10月11日(金) ②豊春第二公民館で実施 10月12日(土) ③豊春地区公民館で実施		PR方法	公民館だより6、8月号、 ポスター、チラシに掲載				
			受付方法	開催する公民館に直接または電話で申込み				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
7月19日(金)	10:00～11:30	①あなたは大丈夫？ フレイル予防講座	講義	7	21	28	明治安田生命 保険相互会社 第3地域 包括支援センター 第3地域 包括支援センター	
10月11日(金)	10:00～11:30	②「あんしん」を備えよう (豊春第二公民館)	講義	0	7	7		
10月12日(土)	10:00～11:30	③「あんしん」を備えよう (豊春地区公民館) ※②、③は同じ内容	講義	1	16	17		
3回		4時間30分		8	44	52		
企画運営上の工夫	・「フレイル予防講座」は、民間企業と連携し、脳トレや間違い探しを交えて楽しく学べる講座とした。 ・「『あんしん』を備えよう」の講座は、地区公民館と第二公民館の両館で開催することで、より多くの住民が参加しやすくなるようにした。							
成果の 参加者 声など	・「フレイル予防講座」の参加者からは、「この講座を機に少しずつフレイル改善に努めようと思います」、「今後100歳を目指す参考になりました」などの声が寄せられ、「『あんしん』を備えよう」の参加者からは、「これからはどんな生活をしていくかを考えてはいるものの、何をすればよいか分らなかったけれど、少しずつ見直していきたい」などの声が寄せられ、健康の維持・増進を図るという本事業の目的を達成することができた。							
課題と展望	・「あんしんカード」の存在や有用性を知らない人も多いので普及活動をする必要がある。 ・健康を維持するために重要な役割を果たす「フレイル予防講座」のような関心度の高い事業を、次年度以降も企画していきたい。							

事業名 テーマ	おもしろ科学教室 「ふわふわスライム教室」		対 象	小学生3～6年生	定員	20人	
ね ら い	小学生を対象に、手作りのおもしろさを知り科学への興味を持つための機会として実施する。実験をするだけでなく、物質の成り立ちなどを知ることによって長期的な学習を促す。						
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ	SDGsの 目標No		4、11	
会 場	豊春地区公民館 講堂		教 材 資料等	洗濯のり、ほう砂、絵の具、ストロー等			
実施までの経過	5月10日(金) 講師打合せ 6月中旬 市公式SNSに掲載 7月 6日(土) 申込受付開始 8月 1日(木) 事業実施		P R 方法	公民館だより7月号、ポスター、チラシ、市公式SNSに掲載			
			受付開始	7月6日(土)より豊春地区公民館に直接または電話で申込み			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
8月1日(木)	10:00～12:00	スライム作成、 スライムあそび、 性質についての解説	講義 実習	7	11	18	蔵前理科教室 ふしぎ不思議 関谷 完夫 外2名 わくわく科学クラブ
  							
1回	2時間			7	11	18	
企画運営上の工夫	・スライムの作成を通して、理科・科学に関心を持ってもらう機会とした。 ・スライムの感触を楽しみ、どれくらい伸びるか試してみたり、風船のように膨らまして科学の面白さを知ってもらう機会とした。 ・夏休みに開催することにより、自由研究の参考になるようにした。						
成 果 参加者の声など	・参加した児童がスライムが固まっていく様子を楽しんでいた、伸びたり膨らんだりすることを不思議に感じたりしている様子や、「この教室でもっと理科が好きになれた」との感想から科学や実験の楽しさを伝えることができた。 ・児童と一緒に参加した保護者からは、「実験により子どもの好奇心が湧いたようで、もっと学びたいとのこと」、「どのような作用でスライムができるのかが理解でき、勉強になった」との感想があり、保護者を含めて更なる学習を促すことができた。						
課題と展望	・生活や社会に直結している理科に学童期から親子で楽しめる実験・講座を通して興味・関心を持たせることは、有意義である。来年度以降も継続して実施していきたい。						

事業名 テーマ	夏休み小・中学生体験シリーズ 和風作りを体験してみよう!!		対 象	小・中学生		定員	30人		
ね ら い	夏休みに子どもの居場所を提供するとともに、体験活動を通して地域コミュニティの大切さを知ってもらう。また、それぞれの文化活動を体験することで創造性を養う。								
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGsの 目標No	4、11		
会 場	豊春第二公民館 大集会室		教 材 資料等	和風の材料一式					
実施までの 経 過	5月 9日(木) 事前調整 5月11日(土) 事業内容打合せ 6月上旬～ 公民館だよりにて周知 6月29日(土) 申込受付開始 7月 5日(金) 市公式SNSにて周知 8月 4日(日) 事業実施		P R 方法	公民館だより6、7月号、ポスター、チラシ、市公式SNSに掲載					
			受付方法	6月29日(土)より豊春第二公民館に直接、参加費500円を添えて申込み					
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名		
回 数	総時間数			男	女	合計			
				計	計				
8月4日(日)	10:00～12:00	和風の作成 大風あげ祭りについて	実習 講義	4	9	13	庄和大風文化保存会 風作り教室委員会 委員長 新井 清 外1名		
1回		2時間		4	9	13			
企画運営上 の 工 夫	・地域の公民館として、文化的体験を通して夏休みの思い出づくりや子どもたちの居場所となるようにした。 ・安全を考慮して、小学校3年生以下は保護者同伴とし、希望により他の学年も保護者の同伴を可とした。 ・庄和大風文化保存会に講師及び材料一式を依頼した。								
成 果 参 加 者 の 声 な ど	・春日部市の伝統文化である大風あげ祭りの歴史や意義を、実際に和風作りを体験することで、楽しみながら学べたことは非常に有意義であった。 ・参加した子どもたちからは、「自分の風が作れたという達成感があってとても楽しかった」、「大風の文化を知ることができてよかった」など、体験教室ならではの声が寄せられた。								
課題と展望	・普段なかなか経験することができない文化的体験を中心に「夏休み小・中学生体験シリーズ」として継続していきたい事業である。 ・夏休み期間ということを考慮して、事業の実施日について工夫する必要もある。								

事業名 テーマ	P A（音響操作）セミナー		対 象	中学生以上		定員	各15人	
ね ら い	豊春第二公民館の大集会室で利用できる音響機器の操作方法を習得し、施設・設備の活用を図るとともに、音響機器操作の基礎から応用までを学ぶ機会を設け、音楽に対する興味・関心を深める。							
協力機関 及び団体	P Aサークル プラグド		特 色 位置づけ			SDGsの 目標No	4、11	
会 場	豊春第二公民館 大集会室		教 材 資料等	講師作成テキスト （入門講座編・応用講座編）				
実施までの経過	前年度3月 事前打合せ 5月中旬 講師依頼、内容確認 6、7月 P A点検時に打合せ 8月10日(土) 入門講座実施 8月17日(土) 応用講座実施 8月18日(日) 応用講座実施		P R 方法	公民館だより7、8月号、ポスター、チラシ、市公式SNSに掲載				
			受付方法	P Aサークル「プラグド」の講師あてに電話で申込み				
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
8月10日(土)	9:00～17:00	《入門講座》 音響操作の基本 《応用講座》（集中講座） 音響操作の基本～応用 デモライブ	講義	5	4	9	P Aサークル プラグド 代表 中村 純子 外	
8月17日(土)	10:00～18:00		実習	2	2	4		
8月18日(日)	10:00～18:00		講義 実習	3	1	4		
								
3回	24時間			10	7	17		
企画運営上の工夫	・ P A（音響操作）という専門性が高いセミナーであるが、音響や音楽を身近に感じていただくよう基礎的な入門編と専門的な応用編に分けて実施した。 ・ 幅広く P R できるよう各公共施設へのポスター掲示や S N S を活用した周知を積極的に行った。 ・ 参加者一人一人が十分な実技講習ができるよう定員数を見直して実施した。							
成果の 参加者 声など	・ 参加者からは、「コンサート等の音響の仕組みや工夫を知ることができてとても楽しかった」、「機材に触れることもできて良かった」、「P A の知識を身につけて自分の活動や仕事に活かせたらと思いました」などの感想をいただいた。							
課題と展望	・ 音響設備の有効活用や市民活動の向上を目指し、今後も継続的に実施をしていきたい。 ・ 参加者の個々の音楽活動や公民館、市のイベントなど、幅広く活躍できるようセミナーを充実させていきたい。							

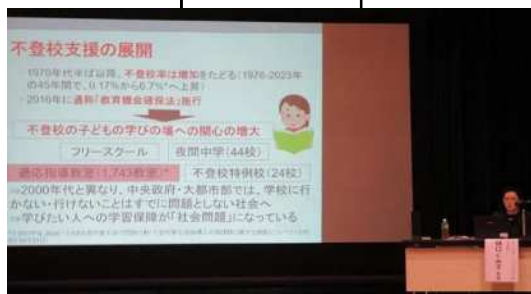
事業名 テーマ	とよはる音楽祭 ①夏の終わりのコンサート ②Winter Concert		対象	一般		定員	各150人	
ねらい	地域と公民館のさらなる発展・交流の拡大を、音楽を通じた手法により目指す。良質な音楽を鑑賞することで、生活の中に癒しと安らぎを提供し、もって、心身の健康増進を図る。							
協力機関 及び団体			特色 位置づけ			SDGsの 目標No	4、11	
会場	豊春地区公民館 講堂		教材 資料等	音楽祭プログラム				
実施までの経過	7月中旬 出演者依頼 8月以降 出演調整 8月17日(土) 整理券配布 9月14日(土) 1回目 事業実施 10月19日(土) 整理券配布 12月 7日(土) 2回目 事業実施		PR方法	公民館だより8、10月号、ポスター、チラシに掲載				
			受付方法	事前に整理券を配布した				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
9月14日(土) 12月7日(土)	14:30～16:00 14:00～15:15	歌とピアノのコンサート ヴァイオリン・ピアノ・チェロ・コントラバスのコンサート	鑑賞 鑑賞	45 52	88 78	133 130	出演者 Saya El Cielo 2020 (森音楽事務所所属)	
								
2回	2時間45分			97	166	263		
企画運営上の工夫	・数々のコンクールで受賞歴のある演奏家や全国的に演奏活動をしている音楽団体をお呼びし、上質な音楽を提供した。 ・歌とピアノのコンサートでは、童謡を来場者と一緒に歌うなど、来場者も参加して楽しめるプログラムとした。 ・事前に整理券を配布することで、当日の受付時の混雑を防いだ。							
成果の 参加者 声など	・「音楽の楽しさを味わい、癒やしの時間となりました。音楽の力をたくさんいただきましたことに感謝します」、「これ程質の高い音楽を公民館で鑑賞できるといっていいと思います。素晴らしい時間を過ごせました」など、演奏に感動したといった感想が多数寄せられ、充実した時間を提供することができた。							
課題と展望	・様々なジャンルの音楽を取り入れて、幅広い年齢層のより多くの人に音楽鑑賞の機会を提供できるよう企画していきたい。 ・100人以上が来場した関心の高い事業であることから、文化芸術振興のため来年度以降も継続したい事業である。							

事業名 テーマ	学社連携事業 「公民館の役割と公民館の事業体験」		対 象	宮川小学校2年生 立野小学校3年生		定 員	—
ね ら い	宮川小学校の2年生と立野小学校の3年生が、施設見学のため公民館を訪問し、公民館の役割や概要を学べる場とする。また豊春地区の生涯学習市民推進員に協力を依頼し、実際に公民館事業の体験をし、公民館を身近に感じてもらう場とする。						
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ	小学校からの依頼 を受け実施		SDGsの 目標No	4、11
会 場	豊春地区公民館 講堂 豊春第二公民館 大集会室		教 材 資料等	絵合わせパズルの材料等			
実施まで の 経 過	8月下旬 講師協力依頼 9月18日(水) 豊春地区公民館 宮川小学校施設見学 1月10日(金) 立野小学校打合せ 1月15日(水) 豊春第二公民館 立野小学校施設見学		P R 方法				
			受付方法				
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
9月18日(水)	9:10～10:40	公民館の概要等を説明 絵合わせパズルの作成	講義 実習	12	11	23	生涯学習市民推進員 杉山 充男
1月15日(水)	10:00～11:45	公民館の概要等を説明 絵合わせパズルの作成	講義 実習	43	34	77	生涯学習市民推進員 杉山 充男
							
2回	3時間15分			55	45	100	
企画運営上 の 工 夫	・施設見学の中で、利用団体の活動の様子を見学することによって、公民館活動についてより具体的に学んでもらうことができた。 ・公民館について楽しみながら興味を持ってもらうために、児童にマイクで抱負を発表してもらったり、豊春第二公民館のドラムを叩いてもらうなどの設備を利用した。 ・小学生に公民館の仕事内容をより身近に感じてもらうため、事業体験として簡単な工作講座を実施した。						
成 果 参加者の 声 など	・公民館の事業体験として楽しい工作講座を受講したことにより、公民館に親しみを持ち、身近な存在になれたものとする。						
課題と展望	・公民館に興味をもってもらうために、次年度以降も公民館に親しみを持つことができるような工夫をして、事業内容のさらなる充実を図る。						

事業名 テーマ	第27回 豊春第二公民館文化祭		対象	公民館利用団体 ・一般		定員	—	
ねらい	公民館利用団体が日頃の活動成果を発表し、新たな創作活動への意欲を育むとともに、市民同士が交流を図ることで、公民館活動の拡大を目指す。							
協力機関 及び団体	豊春第二公民館文化祭実行委員会 P Aサークル プラグド		特色 位置づけ			SDGsの 目標No	4、11	
会場	豊春第二公民館		教材 資料等	プログラム 各種イベントごとに資料等				
実施までの経過	8月 3日(土) 第1回実行委員会 9月 7日(土) 第2回実行委員会 10月13日(日) } 立野小学校作品展 ~10月26日(土) 11月30日(土) 第3回実行委員会 2月 9日(日) 文化祭 実施		PR方法	公民館だより10、2月号、プログラム、ポスター、チラシに掲載				
			受付方法	サークルは当日受付 開催当日の観覧、参加は自由				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
2月9日(日)	10:30~15:00	舞台・展示・販売に分かれて活動成果を発表 社交ダンスパーティー	発表	60	300	360	公民館利用団体 ステージ 10団体 展示 1団体 販売 1団体 ＜協力団体＞ わかば春日部 第3地域 包括支援センター 生涯学習市民推進員 立野小学校	
	16:00~19:00		発表					
10月13日(日) ~10月26日(土)		立野小学校児童 作品展示	展示					
								
1回	15日間			60	300	360		
企画運営上の工夫	・当初予定していた10月27日(日)から2月9日(日)に開催日が延期になったが、立野小学校児童の作品展を先行して開催したり、第3回実行委員会を開催して参加団体の意識の高揚を図った。 ・より多くの人に来場していただくため、プログラム内容を工夫してPRに力を入れた。							
成果の 参加者 声など	・文化祭後のアンケートでは「皆さんの一生懸命さに感激しました」、「公民館の歴史を感じました」、「元気をもらいました」、「楽しかった。またやってほしい」などの声が寄せられ、活動成果を地域住民に発表するよい機会となった。							
課題と展望	・参加団体の連帯意識が高く、実行委員会による運営もスムーズに行われたが、新規の参加団体を増やしていくことが今後の課題である。 ・文化祭を通して地域コミュニティの推進を図るため継続したい事業である。							

事業名 テーマ	第35回 豊春地区公民館文化祭		対 象	公民館利用団体 ・ 一般		定 員	—
ね ら い	公民館利用団体が日頃の活動成果を発表し、新たな創作活動への意欲を育むとともに、市民同士が交流を図ることで、公民館活動の拡大を目指す。						
協力機関 及び団体	豊春地区公民館文化祭実行委員会 P Aサークル プラグド		特 色 位置づけ			SDGsの 目標No	4、11
会 場	豊春地区公民館		教 材 資料等	プログラム 各種イベントごとに資料等			
実施までの経過	8月24日(土) 第1回実行委員会 9月19日(木) 第2回実行委員会 10月27日(日) }文化祭作品展開催 ~11月10日(日) 11月10日(日) 文化祭 実施		P R 方法	公民館だより10月号、プログラム、ポスター、チラシに掲載			
			受付方法	サークルは当日受付 開催当日の観覧、参加は自由			
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
11月10日(日)	10:30~15:00	舞台・展示・体験に分かれて活動成果を発表	発表	60	190	250	公民館利用団体 ステージ 8団体 展示 5団体 体験 3団体 ＜協力団体＞ わかば春日部 第3地域 包括支援センター 生涯学習市民推進員 豊春小学校 宮川小学校 豊春中学校
10月27日(日) ~11月10日(日)		文化祭作品展	展示				
1回	11日間			60	190	250	
企画運営上の工夫	・文化祭の作品展示期間に、豊春地区の小・中学校3校の作品を展示したことにより、俳句や絵画、書道といった様々な作品を展示し、多くの来場者を楽しんでもらうことができた。						
成 果 参加者の声など	・例年どおりの11月に開催し、多くの団体が参加した。 ・文化祭後のアンケートでは「皆さん、一生懸命頑張っている姿を見て、よい刺激になりました。これからも続けてください」、「出品、出演、体験どれも楽しかったし、立派でした」などの声が寄せられ、文化祭を通して利用団体の活動の成果を披露することができた。						
課題と展望	・地域の人々が触れ合いコミュニティが広がり、文化や芸術に触れることのできる貴重な機会であるため、より多くの人に参加してもらう工夫が必要である。 ・若年層や新規の参加者が少ないことから、SNSを利用するなどして広報し、興味を引くプログラムを考える必要がある。						



事業名 テーマ	小・中学生期家庭教育学級		対象	豊春地区内小中学校PTA会員		定員	100人	
ねらい	小・中学生の子どもを持つ親の在り方、生き方、子の育て方を学ぶ場とする。家庭を取り巻く現状の把握と、その解決法を学び、参加者の自発性を高めることを目指す。							
協力機関 及び団体	豊春・立野・宮川小学校、 豊春・大增中学校 各PTA		特色 位置づけ	豊春地区内小中学校PTAと共催		SDGsの 目標No	4、11	
会場	豊春地区公民館 講堂		教材 資料等	講師作成資料				
実施までの経過	前年度2月頃 講師折衝 7月10日(水) 第1回企画委員会 9月4日(水) 第2回企画委員会 12月10日(火) 講演会 実施 2月14日(金) } 講演動画配信 ~3月14日(金)		PR方法	各PTAより会員へ通知、公民館だより10月号、市公式SNSに掲載				
			受付方法	PTA役員から、児童生徒を通じて参加申込書を配布し各学校ごとにとりまとめて豊春地区公民館へ提出				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
12月10日(火)	11:00~12:30	不登校支援のあり方を考える	講演	12	36	48	岩手大学 社会科学部 准教授 樋口 くみ子	
						(講師依頼元： 公益財団法人 明治安田こころ の健康財団)		
1回	1時間30分			12	36			
企画運営上の工夫	・専門的な知識を有する講師をお呼びするため、前年度の企画会議内で次年度のテーマを決めておき、早い段階から講師を探す工夫をした。 ・今年の講演会では、参加者を各学校の保護者だけでなく、地域住民も参加できるように対象を広げたことにより、不登校支援に関心がある方や子どもと関わる仕事をしている人達へ学習機会を提供することができた。							
成果 参加者の声など	・当日は講師から不登校の問題を社会学の視座で捉えた考え方についてご講演いただき、参加者からは「ひとくくりに不登校といっても子ども自身のこと、環境、親の状況などの問題もあることを知りました。社会の理解がより進んでいく事が大事だと思いました」、「不登校は社会的にも大きな課題となっています。個人だけでは解決できない事もあると感じていましたが、今回社会学の観点から整理して話していただき、納得いくことがたくさんありました」などの声が寄せられ、保護者の学びを支援することができた。							
課題と展望	・不登校は社会の大きな課題であり、様々な要因が絡み合っており複雑な問題である。専門家の講演などで知識を得て、理解を深め子ども一人一人にあった支援が必要である。不登校以外にも子どもを取り巻く問題は多くあるため今後も親や教育者、地域住民に向けたこういった講演会は有意義である。							

事業名 テーマ	公民館利用者のつどい		対 象	公民館利用団体、一般		定員	—	
ね ら い	公民館利用団体と公民館の連絡及び利用者相互の交流の場とする。							
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ	人権問題研修会 と併せて実施		SDGsの 目標No	4、11	
会 場	豊春地区公民館 講堂 豊春第二公民館 大集会室		教 材 資料等	公民館作成資料				
実施までの経過	11月上旬 公民館・テニス利用団体 通知文書配布 1月17日(金)テニスコート 利用者のつどい 1月22日(水)豊春第二公民館つどい 1月23日(木)豊春市民センターつどい		P R 方法	公民館利用団体あてに通知を配布する				
			受付方法	会場入口で受付				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
1月17日(金)	9:00～9:30	<テニス利用団体> テニスコートの 利用等について	会議	4	6	10		
1月22日(水)	14:00～15:30	<豊春第二公民館> 公民館の利用等について	会議	2	16	18		
1月23日(木)	14:00～15:30	<豊春市民センター> 公民館の利用等について	会議	10	34	44		
								
3回	3時間30分			16	56	72		
企画運営上の工夫	・公民館利用者に対して、施設の利用方法や現時点での公民館の取組、令和7年4月からの取組を説明した。							
成果 参加者の声など	・豊春市民センター・第二公民館の質疑応答で、部屋の利用方法についてなどの質問があり回答したことにより、共通認識を図ることができた。引き続き利用方法等について説明をしていく。							
課題と展望	・今後、施設の予約の取り方については変更はないが、市民センターの運営等について利用団体に丁寧に説明していく。また、会議に参加できなかった団体に対する説明についても検討していく必要がある。							

事業名 テーマ	人権問題研修会		対 象	公民館利用団体、一般		定 員	—	
ね ら い	豊かな人間関係づくりを目指し、偏見や差別等の人権問題について認識を深めるとともに、人権問題の早期解決に向けた人権意識の高揚を図り、明るいまちづくりを推進していく。							
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ	利用者のつどいと同時開催		SDGsの 目標No	4、10、 11	
会 場	豊春地区公民館 講堂 豊春第二公民館 大集会室		教 材 資料等	人権啓発DVD 「障害者は困っています！～合理的配慮へのポイント①～」				
実施までの 経 過	11月12日(火)公民館利用団体 通知文書配布 1月22日(水)豊春第二公民館つどい 1月23日(木)豊春市民センター つどい		P R 方法	公民館利用者団体あてに通知を 配布する				
			受付方法	会場入口で受付				
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
1月22日(水)	14:05～14:30	<豊春第二公民館> 趣旨説明、DVDの上映 <豊春市民センター> 趣旨説明、DVDの上映	観賞	2	16	18		
1月23日(木)	14:05～14:30		観賞	10	34	44		
2回	50分			12	50	62		
企画運営上 の 工 夫	・多くの人に参加してもらうため、「利用者のつどい」の一環として実施した。 ・障害のある人への差別をなくし、障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重しながら共生する社会を目指す、合理的配慮の観点から描いた作品であり、障害者と接する際にどのように対応していけば良いかを考えるきっかけとして上映を行った。							
成 果 参加者の 声 など	・参加者からは「とても良かったです。ビデオ視聴はとても勉強になりました」、「自分勝手に思ってしまう事がありますので合理的に考えるように努力していこうと思います」など、研修をきっかけに人権問題についての理解を深めることができた。							
課題と展望	・現代においても、いまだ解決に至っていない人権問題について、参加者それぞれが再考する機会として、今後も継続が必要な事業である。							



事業名 テーマ	チャレンジクッキング そば打ちを体験してみよう！		対象	一般		定員	10人	
ねらい	日常生活に欠かせない食を通して食文化の素晴らしさを感じていただくとともに、新たなものにチャレンジすることで自己啓発の一助とする。また、既存のサークル団体に講師を依頼し、より一層の地域コミュニティの推進を図る。							
協力機関 及び団体			特色 位置づけ			SDGsの 目標No	4、11	
会場	豊春第二公民館 大集会室・調理室		教材 資料等	講師作成資料				
実施までの経過	10月19日(土) 講師打合せ 12月上旬 公民館だより配布 12月21日(土) 申込受付開始 1月10日(金) 打合せ(会場確認等) 1月18日(土) 事業実施		PR方法	公民館だより12月号に掲載				
			受付方法	12月21日(土)より豊春第二公民館に参加費1,500円を添えて申込み				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
		計	計					
1月18日(土)	10:00～13:30	蕎麦打ち実習	実習	6	3	9	蕎麦の会 藤 会長 村上修一 横山忠弘 外4名	
								
1回	3時間30分			6	3	9		
企画運営上の工夫	・本格的な料理を身近に体験できる講座を念頭に企画した。 ・地区公民館で積極的に活動している利用団体に講師を依頼することで、当館での新たなサークル活動の拡大と活性化を図った。 ・実施場所を作業工程別に2カ所に分けることで昨年度より定員を増やすことができた。 ・蕎麦打ち用具一式を講師のサークル団体に依頼した。							
成果の 参加者 声など	・講師の指導の下、蕎麦打ちを基礎から学び自分で作った本格的な蕎麦が完成できたことによって、参加者の満足度は非常に高くなった。 ・初めて参加した人が多く、新たな挑戦として自己啓発の一助となった。 ・参加者からは、「初めてだったので新鮮で良かった」、「楽しかった」、「勉強になった」、「実践して手順をきちんと覚えることが大事と知りました」など、充実した感想が述べられた。							
課題と展望	・身近な公民館で本格的な料理にチャレンジできる機会として今後も継続していきたい。 ・サークル団体や市民団体に活動する地域の方を講師に迎え、公民館の活性化と地域コミュニティの拡大を図っていきたい。							

事業名 テーマ	親子の広場		対 象	乳幼児・保護者		定員	—
ね ら い	子育て中の保護者が、子どもを遊ばせながら育児の不安や悩みなどを情報交換するとともに、子ども同士の遊びの中から社会性を養う場とする。						
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGsの 目標No	4、11
会 場	豊春地区公民館 研修室(12月は講堂) 豊春第二公民館 和室		教 材 資料等	遊具、おもちゃ、絵本等			
実施ま での 経 過	前年度2月中旬 来年度の打合せ 毎月第3木曜日 豊春地区公民館で実施 毎月第2水曜日 豊春第二公民館で実施		P R 方法	ホームページ、公民館だより各号、公民館ブログに掲載			
			受付方法	自由参加			
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
4月18日(木)	10:00～11:30	〈豊春地区公民館〉 保護者の情報交換と、 子どもの社会性を、遊 びから養う	体験	7	17	24	豊春西地区 更正保護女性会
5月16日(木)				1	9	10	
6月20日(木)				6	14	20	
7月18日(木)				1	7	8	
8月22日(木)				4	11	15	
9月19日(木)				7	14	21	
10月17日(木)				13	18	31	
11月21日(木)				4	5	9	
12月19日(木)				15	17	32	
1月16日(木)				6	14	20	
2月20日(木)				6	16	22	
3月27日(木)				4	12	16	
小計12回	18時間			74	154	228	
4月10日(水)	10:00～11:30	〈豊春第二公民館〉 保護者の情報交換と、 子どもの社会性を、遊 びから養う	体験	5	11	16	豊春東地区 更正保護女性会
5月 8日(水)				6	13	19	
6月12日(水)				7	18	25	
7月10日(水)				8	21	29	
8月 7日(水)				6	14	20	
9月11日(水)				10	15	25	
10月 9日(水)				9	11	20	
11月13日(水)				10	15	25	
12月11日(水)				18	29	47	
1月 8日(水)				5	7	12	
2月12日(水)				14	18	32	
3月12日(水)				7	15	22	
小計12回	18時間			105	187	292	
24回	36時間			179	341	520	
企画運営上 の 工 夫	・0歳から5歳の子どもと保護者を対象に交流の場を作った。 ・年間を通して季節を感じられるイベントを企画した。豊春地区公民館の12月の親子の広場は、多数の参加が予想されたため、大きい部屋へ会場を変更して、親子で楽しめるミニコンサートを開催した。						
成 果 参加者の 声 など	・親子の広場を通して、子育ての情報や悩みを共有するため、参加者同士の交流や参加者と更生保護女性会の会員との交流が生まれた。 ・10月にキャンディレイの作成など親子で楽しめる企画をし、前年度より多くの参加があった。						
課題と展望	・更生保護女性会や参加者の声を取り入れ、より充実した事業となるよう計画していく。						

事業名 テーマ	えんJOYトレーニング (豊春第二公民館えんトレの会)		対 象	一般		定員	20人	
ね ら い	「いつまでも元気」を目指して地域の中で行う介護予防体操のえんJOYトレーニングを、市民の自主的なトレーニング活動として運営協力者であるサポーターの養成を含めて行い、地域住民の健康増進を図る。							
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGsの 目標No	3、4、11	
会 場	豊春第二公民館 大集会室		教 材 資料等	講師作成資料				
実施までの 経 過	毎週金曜日 豊春第二公民館で実施		PR方法					
			受付方法					
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男	女	合計		
回 数	総時間数			計	計	合計		
4月 5, 12, 19, 26 5月 10, 17, 24, 31 6月 7, 14, 21, 28 7月 5, 12, 19, 26 ※8月は休止 9月 6, 13, 20, 27 10月 4, 11, 18, 25 11月 1, 8, 15, 29 12月 6, 13, 20 1月 10, 17, 24, 31 2月 7, 14, 21, 28 3月 7, 14, 21, 28	毎週金曜日 14:00～15:30	えんJOYトレーニング  	実技	3 4 4 4 0 4 4 4 2 4 4 3	34 47 43 41 0 61 51 54 39 52 58 45	37 51 47 45 0 65 55 58 41 56 62 48	第3地域 包括支援センター 介護保険課 地域支援担当	
43回	64時間30分			40	525	565		
企画運営上 の 工 夫	・サポーターを中心に主体的に取り組んでもらった。 ・参加者も当番制で掃除や後片付けをすることで、全員で運営する意識を持ってもらった。							
成 果 参 加 者 の 声 な ど	・第3地域包括支援センターと共催することで専門的な指導・助言を仰ぎながら実施できた。 ・サポーターも増えて以前より活気づいた。							
課題と展望	・地域の公民館での開催であり、介護予防や健康増進に繋がる運動であるため継続していきたい事業であるが、今後はサークル化や参加者募集を検討していく必要がある。							

事業名 テーマ	豊春市民センター 豊春第二公民館 避難所開設訓練		対象	自治会役員・一 般		定員	各回 30人	
ねらい	地区内の防災組織と連携して公民館を会場とした防災訓練を行うことにより、 地域の防災力を高めることを目指す。							
協力機関 及び団体	豊春地区自治会連合会		特色 位置づけ	新規事業		SDGsの 目標No	4、11、 13	
会場	豊春地区公民館 講堂 豊春第二公民館 大集会室		教材 資料等	講師作成資料 避難所物資				
実施ま での経 過	1月10日(金)危機管理防災課打合せ 1月18日(土)豊春地区自治会連合会 定例会にて周知 2月13日(木)豊春地区公民館で実施 2月26日(水)豊春第二公民館で実施		PR方法	豊春地区自治会連合会へ周知、 公民館だより2月号、ポスター、 チラシに掲載				
			受付開始	一般参加者の募集は申込不要				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
2月13日(木)	9:30～11:30	避難所運営について 段ボールベッド及び間 仕切りの組み立て	講義 実習	5	10	15	危機管理防災課 職員	
2月26日(水)	14:00～16:00	避難所運営について 段ボールベッド及び間 仕切りの組み立て	講義 実習	5	21	26	危機管理防災課 職員	
  								
2回	4時間			10	31	41		
企画運営上 の工夫	・石川県七尾市の避難所の話を先にすることによって、避難所についての具体的 なイメージをもって開設訓練に進むことができた。 ・自治会役員に加えて地域住民が訓練に参加し、職員の説明なしで資料を頼り に開設準備をしたことによって、実際に避難所を開設した際に地域住民の協力 のもとスムーズに避難所を運営できることを目指した。							
成果 参加者の 声など	・参加者アンケートでは、「大変良い体験でした。家族に伝えたいと思いまし た」といった声が寄せられ、地域住民が訓練に参加することによって、災害時 に地域住民の協力のもと、スムーズに避難所を運営できるようになった。							
課題と展望	・自治会や自主防災会との連携を深め、次年度以降も防災事業を継続的に実施 する必要がある。 ・避難所に指定されている公民館として、地域の自治会と共同して防災力を高 めるための勉強会や訓練を、次年度以降も継続して開催していきたい。							

